

ほっとスクールにおける運営評価の実施について

1 主旨

ほっとスクールでは、不登校の児童・生徒が安心して過ごすことができる「心の居場所」として、区内3か所に開設し、子どもたちの支援に取り組んでいる。

また、平成31年2月に開設した「ほっとスクール希望丘」においては、その運営を民間事業者へ委託し、民間のノウハウや人的ネットワークの活用により、支援の一層の充実を図ってきた。今年度、民間事業者への委託を開始してから3年目を迎え、令和4年度以降の事業者を選定する必要があることから、民間事業者への委託制度の導入効果等を分析し、次期事業者選定に向けた検討を行う。

あわせて、各ほっとスクールにおける運営評価を実施し、運営体制や支援の実施状況等の比較検証を行い、ほっとスクールにおける支援の一層の充実に向けた検討も行う。

2 実施方法

(1) 民間の評価機関による調査・分析

民間の評価機関への委託により、ほっとスクールの利用者及びその保護者に対するアンケート調査、ほっとスクール職員による自己評価、施設への訪問調査を実施し、各ほっとスクールにおける「利用者満足度」、「運営体制」、「コスト」等を比較・分析する。

(2) 「ほっとスクール運営評価委員会」による評価

「ほっとスクール運営評価委員会」(別紙参照)を設置し、民間の評価機関による分析結果に加え、各ほっとスクールへの訪問調査を実施し、「居場所機能」、「学習支援機能」、「適応支援機能」等の支援機能についても評価を行うことで、ほっとスクールにおける運営評価の総括を行う。

(3) 評価結果を踏まえた検討

ほっとスクールにおける民間委託制度の導入効果等の評価結果を踏まえ、次年度の「ほっとスクール希望丘」における事業者選定の内容等について検討を行う。

また、各ほっとスクールの運営状況、支援内容等の評価結果を踏まえ、運営手法や体制、支援内容等の改善、充実に向けた検討も行う。検討結果は、次期不登校アクションプランに反映し、次年度以降の事業展開を効果的に実施していく。

3 今後のスケジュール(予定)

| | | |
|------|-------|---------------------------|
| 令和3年 | 8月 | ほっとスクール運営評価委員会(第1回) |
| | 9月 | ほっとスクール訪問調査 |
| | 9~10月 | ほっとスクール運営評価委員会(第2回) |
| | 11月 | 文教常任委員会報告(評価・検証の結果) |
| | | 事業者選定 手続き開始公告(ほっとスクール希望丘) |

【参考】ほっとスクール運営評価委員会構成員

| | | | |
|---|-----|--------------------------|-------|
| 1 | 委員長 | 東京学芸大学 教育実践研究支援センター教授 | 小林 正幸 |
| 2 | 委員 | さくら国際高等学校学園長 | 荒井 裕司 |
| 3 | 委員 | 教育監 | 粟井 明彦 |
| 4 | 委員 | 教育政策部参与 | 平沢 安正 |
| 5 | 委員 | 教育相談専門指導員 | 今村 泰洋 |
| 6 | 委員 | 副参事 (学校経営・教育支援担当) | 塚本 桂子 |
| | 事務局 | 教育相談・支援課 | |